

= Match Report =

2022年8月3日(水) 18:00 kick off 会場(相模原ギオンスタジアム)

神奈川県U-17選抜

vs

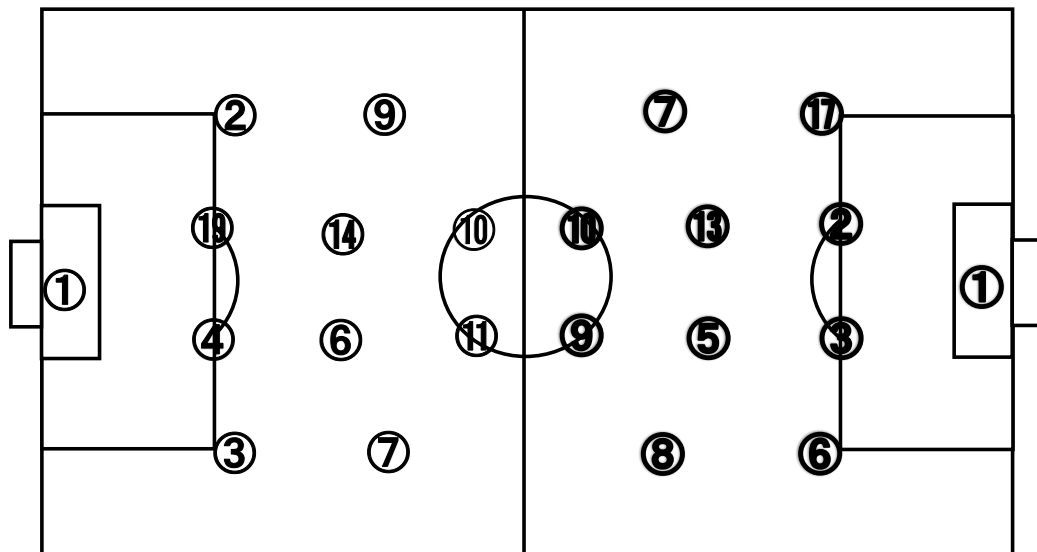
前橋育英

高校(群馬県)

2	0 - 3	3
	2 - 0	
	-	
	-	
	PK	

基本システム 1 - 4 - 4 - 2

基本システム 1 - 4 - 4 - 2



【Match Report】

2021年度神奈川県U-16研修会の優秀選手を中心とした神奈川県U-17選抜と2022年度全国高校総体を制した前橋育英(群馬県)の対戦は、前橋育英のキックオフで試合が始まった。両チームともに1-4-4-2システムを採用し、立ち上がりは中盤での激しい主導権争いが繰り広げられる。

前半、ペースを掴んだ神奈川県U-17選抜が、スピードのあるMF⑦松田と⑨工藤の両サイドから積極的にゴールへ迫る。対する前橋育英は、自陣で丁寧にボールを動かし、両SBが高い位置をとり、ダイナミックな攻撃を仕掛ける。前半27分、前橋育英MF⑦松田のコーナーキックからFW⑩織茂がヘディングシュートを決めて先制。さらにその直後、前半28分MF⑦松田のグラウンダーのクロスがオウンゴールを誘い追加点を奪う。そして終了間際45分、中盤の攻防でボールを奪い、高いポジションをとっていたGKを見逃さなかったFW⑩織茂がハーフウェーライン付近からロングシュートを決め、リードを3点に広げて前半を終える。

後半、前線からの激しいプレスで反撃を試みる神奈川県U-17選抜は、5分、前橋育英のビルドアップをパスカットし、MF⑥小西が1点を取り返す。さらに後半7分、前半から精度の高い左足のキックを見せていたDF②尾野のクロスがFW⑩山上が落ち着いて決めて1点差に詰め寄る。対する前橋育英は、幅をうまく使い、長短のパスを使い分けてゴール前に迫るが、チャンスを決めきれることができない。試合終盤にかけて縦に早いシンプルな展開が増え、神奈川県U-17選抜がMF⑨工藤を中心にサイドから攻撃を仕掛ける。しかし、GK①上野を中心としたDFラインが粘り強く守備を行い、失点を許さず試合終了。攻守にわたって高い強度でテクニカルなプレーを見せてくれた選手たちの更なる活躍に期待したい。

記載責任者 所属(大和西高校) 氏名(池田 脩人)